

30th

サタデープログラムニュース

日本の財政事情

元モルガン銀行東京支店長がみたこれからの経済

講座番号：10番 第1部 9:30～11:00 ※3部から1部に変更になりました。

講師：藤巻健史氏

(元モルガン銀行東京支店長・現参議院議員)



〈講師プロフィール〉

1950年東京生まれ。一橋大学商学部を卒業後、ノースウエスタン大学院にてMBA(経営修士号)を取得。

その後アメリカ最大手銀行モルガン銀行(現:JP モルガンチェース銀行)に入社し東京支店長となり、同社会長より「伝説のディーラー(取引を行う人の事)」と呼ばれた。

2000年に退社し、世界の投資家と称されるジョージソロス氏のアドバイザーや一橋大学や早稲田大学大学院で非常勤講師を務め、現在は参議院議員も務めている。

2002年より8年間弟の故藤巻幸夫氏と共に朝日新聞土曜版「Be」にて「藤巻兄弟」を連載。現在は週刊朝日にて「虎穴に入らずんばフジマキに聞け」を連載中。

そもそもディーラーって何？

ディーラーとは端的に言うと債券や株、為替などを売買して、利益を求めて取引する人のことです。

利益を出すには、社会情勢や金融情勢を勉強し、刻々と変化する相場の動きを読まなくてはなりません。一瞬の判断で多額の資金を動かすため強い決断力も必要です。しかも大きな利益が出ることもあれば、大きな損失を出すこともあります。どんな状況になって耐え抜く胆力も欠かせません。

こうした苦勞を乗り越え、巨額の利益を生み出したときのうれしさこそ、この仕事の魅力と藤巻氏は語ります。

努力の結果、運をひきよせ「伝説のディーラー」に

ディーラーの使命は取引でより多くの利益を上げることです。藤巻氏は世界でトップレベルの利益を上げ続け、「伝説のディーラー」と呼ばれるようになりました。

しかし、最初はとてつらい生活でした。入社当時の資金為替部長に「東京支店をつぶす気か！」と怒られたり、3日間続けて損失を出し、円形脱毛症を発症したりしました。それでもディーリングで利益を出すことを楽しいと思い、毎日勉強し、努力した結果「伝説のディーラー」といわれるまでになりました。

為替の動きはある程度は予測が立つとはいえ、運も必要です。その運は自分で引き寄せたと藤巻氏は仰います。しかし、努力されたからこそ、運をひきよせ、「伝説のディーラー」になったのだと思います。

一人生にはいろいろな選択肢があります。しかし、ローリスク・ハイリターン的人生は通常期待できません。ハイリターンを求める人は、どこかで高いリスクを取る必要があるということです。

「ハイリターンを求めてハイリスクを取るには、何が何でも勉強が不可欠」これは藤巻氏がモルガン銀行退社後、一橋大学や早稲田大学大学院で非常勤講師をしていた時に学生によくかけた言葉です。

日本の将来のために…

日本の将来を不安視した藤巻氏は政治家を志しました。日本の政治家にはビジネス界出身者が少なく、政界がビジネス界の常識とかけあまりに離れていると感じたからです。

たとえば、支出は収入の範囲におさめるのがビジネスの常識ですが、政治家は国債（国の借金）をあてに、ばら撒き政策を行っています。そうなれば、国家財政が破たんするのも時間の問題となってしまいます。こうした現状に危機感を持った藤巻氏は政治家として新たな職業人生を送っています。

政治家になる前はどれだけ危機感を発しても、政治を全く動かせませんでした。しかし、政治家になるとほかの政治家の考え方に影響を与えられるようになりました。一人では難しいけれど、多くの政治家が納得してくれるようになれば今の危機的な日本経済を救えると考え、日々活動されています。

当日は…

日本経済が抱えている様々な問題点と、これらの問題に私たち若い世代がどう対処したらいいのか。「伝説のディーラー」藤巻氏の職業人生を振り返って、どうやったら自分で満足できる人生が送れるのか。この2つをテーマにご講演いただきます。この機会に経済と人生というものを考えてみませんか？

皆様のご来場をお待ちしております!!

担当者:金谷(H1E) 前田

(J2H)